

平成 14年 3月期 決算短信

平成 14年 5月 16日

住友製薬株式会社 大阪市中央区道修町二丁目 2番 8号

(URL <http://www.sumitomopharm.com/>)

(問合せ先) 責任者役職名 経 理 部 長

氏 名 溝 部 浩 二 TEL. (06) 6229-5737

決算取締役会開催日 平成 14年 5月 14日 (決算期 年 1回 3月 31日)

定時株主総会開催日 平成 14年 6月 25日 中間配当制度の有無 有

1.平成 14年 3月期の業績 (平成 13年 4月 1日 ~平成 14年 3月 31日)

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切捨てて表示しております。

(1)経 営 成 績

(単位 ;百万円)

	売上高 (対前期増減率)	営業利益 (対前期増減率)	経常利益 (対前期増減率)
平成 14年 3月期	143,446 (14.0%)	33,574 (18.1%)	32,161 (11.9%)
平成 13年 3月期	125,859 (11.0%)	28,427 (27.6%)	28,729 (16.1%)

	当期利益 (対前期増減率)	1株当たり 当期利益	株主資本 当期利益率	総 資 本 経常利益率	売上高 経常利益率
平成 14年 3月期	17,434 (8.2%)	96,641円	17.6%	19.2%	22.4%
平成 13年 3月期	16,105 (68.0%)	89,276円	18.3%	18.6%	22.8%

(注)期中平均株式数 平成 14年 3月期 180,400株
平成 13年 3月期 180,400株

(2)配 当 状 況

(単位 ;百万円)

	1株当たり 年間配当金	1株当たり 年間配当金		配当金総額 (年間)	配当性向	株主資本 配当率
		中間	期末			
平成 14年 3月期	38,000円	17,500円	20,500円	6,855	39.3%	6.9%
平成 13年 3月期	35,000円	-	35,000円	6,314	39.2%	6.6%

(3)財 政 状 態

(単位 ;百万円)

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
平成 14年 3月期	171,628	102,893	60.0%	570,365円
平成 13年 3月期	163,132	95,566	58.6%	529,749円

(注)期末発行済株式数 平成 14年 3月期 180,400株
平成 13年 3月期 180,400株

(4)キャッシュ・フローの状況

(単位 ;百万円)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
平成 14年 3月期	24,308	4,608	9,599	36,178
平成 13年 3月期	12,926	17,080	1,445	26,077

2.次期の業績予想 (平成 14年 4月 1日 ~平成 15年 3月 31日)

(単位 ;百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
平成 15年 3月期	143,000	30,000	28,000	15,000

当期および次期の業績の概況

1. 当期の業績概況

当期の国内医薬品産業を取り巻く環境は、医療費の総額抑制の観点から医療制度や薬価基準制度の改革が検討され、医薬品の国内市場は当面拡大が期待できない厳しい状況の下に推移いたしました。また欧米企業の日本での事業展開はますます加速してきたうえ、ゲノム科学などの先端技術を踏まえた研究開発競争も一層激しさを増しております。

このような状況のもと、当社は営業戦力の拡充を図るとともに支援体制の充実に努め、営業体制の強化に注力いたしました。研究開発分野においては、重点研究領域や優先テーマへの経営資源の重点配分を図って、創薬研究を一層推進しました。またグローバル化を前提とした医薬品の開発が求められるなか、国内外の臨床開発体制の強化に努めてまいりました。

販売面につきましては、全社売上高は1,434億4千6百万円、前期比175億8千6百万円の増収となりました。医療用医薬品においては「アムロジン」（高血圧症・狭心症治療薬／持続性カルシウム拮抗薬）、「メロペン」（カルバペネム系抗生物質製剤）が引き続き伸長したほか、前期後半に販売を開始した「ヒビテン」（殺菌消毒剤）、「タガメット」（H₂受容体拮抗剤）および「ルーラン」（抗精神病剤）が通年に亘り販売に寄与したことから、全体として大幅な伸長を遂げることができました。また輸出についてはメロペナムバルクの販売が引き続き順調に増加しました。

利益面については、将来の事業基盤の強化や収益力拡大のための研究開発投資の増加や営業体制の強化に伴う諸経費の増加がありましたが、医療用医薬品の売上拡大により経常利益は321億6千1百万円と前期に比べ34億3千1百万円の増益となり、また当期利益も前期比13億2千8百万円増の174億3千4百万円となりました。

2. 次期の業績見通し

平成15年3月期の売上高は、薬価改定の影響があるものの重点品目を中心に拡販に注力し、1,430億円を見込んでおります。利益面では引き続き研究開発投資を中心とした諸経費の増加を見込んで、経常利益は280億円、当期利益は150億円の見通しであります。

3. 会社の対処すべき課題

医療費抑制のための医療諸制度や薬価基準制度の見直しの動きは今後も続くうえ、攻勢を強める欧米の医薬品企業を巻き込んだ厳しい企業間の生き残り競争は、今後ますます激化していくと予想されます。その中で業界再編の動きも見え始めており、わが国の医薬品産業はまさに転換期を迎えていると思われれます。

このような状況のもと、当社においては、営業面では効率的な営業体制を確立・強化し、売上拡大を図ってまいります。研究開発面では引き続き優先テーマへの経営資源の重点配分やゲノム創薬等における先端基盤技術の活用、さらに臨床開発体制の強化を通じて世界に通用する新薬の早期上市に向け、従来以上に効率的な研究開発に注力いたします。また効率的な事業推進体制を充実し、事業基盤の一層の強化を図っていく所存であります。

薬効別売上高

(単位:百万円)

薬効分類		当 期 (自平成13年4月 1日 至平成14年3月31日)		前 期 (自平成12年4月 1日 至平成13年3月31日)		増 減	
製品名	薬効	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
神経系用薬		17,961	12.5	17,869	14.2	92	0.5
インデバン	鎮痛消炎剤	6,107	4.3	6,551	5.2	444	6.8
トプス	神経機能改善剤	4,959	3.5	4,959	3.9	0	0.0
セディール	抗不安薬	3,349	2.3	3,589	2.9	240	6.7
ルーラン	抗精神病剤	1,110	0.8	110	0.1	1,000	908.6
その他		2,435	1.7	2,658	2.2	223	8.4
循環・呼吸・消化器系用薬		51,835	36.1	41,142	32.7	10,692	26.0
アムロジン	高血圧症・狭心症治療薬	36,681	25.6	32,466	25.8	4,214	13.0
タガメット	H2受容体拮抗剤	7,725	5.4	972	0.8	6,752	694.1
アルマール	高血圧・狭心症・不整脈治療剤 本態性振戦治療剤	4,459	3.1	4,450	3.5	8	0.2
その他		2,969	2.1	3,253	2.5	283	8.7
ホルモン剤		7,947	5.5	8,399	6.7	452	5.4
グロウジェクト	遺伝子組換え天然型 ヒト成長ホルモン製剤	5,495	3.8	5,881	4.7	385	6.6
プロスタール	前立腺肥大症・癌治療剤	1,198	0.8	1,232	1.0	33	2.7
その他		1,253	0.9	1,286	1.0	32	2.6
生物学的製剤及び腫瘍用薬		12,597	8.8	14,121	11.2	1,523	10.8
スフィロン	天然型インターフェロン- 製剤	12,590	8.8	14,111	11.2	1,520	10.8
その他		7	0.0	9	0.0	2	25.0
抗生物質		18,200	12.7	13,590	10.8	4,609	33.9
メロペン	カルバペネム系抗生物質製剤	18,136	12.6	13,536	10.8	4,599	34.0
その他		64	0.0	54	0.0	9	17.4
医薬品その他		21,189	14.8	18,840	15.0	2,348	12.5
ジルテック	アレルギー性疾患治療剤	10,023	7.0	9,798	7.8	224	2.3
ダイドロネル	骨代謝改善剤	4,163	2.9	4,214	3.3	50	1.2
ヒピテン	殺菌消毒剤	3,861	2.7	1,974	1.6	1,887	95.6
その他		3,141	2.2	2,853	2.3	287	10.1
医薬品計		129,733	90.4	113,965	90.5	15,768	13.8
その他 (診断薬・医療材料 医薬バルク・中間体 他)		12,121	8.5	10,726	8.5	1,395	13.0
工業所有権等収益		1,590	1.1	1,167	0.9	423	36.3
合計 (うち輸出)		143,446 (10,700)	100.0 (7.5)	125,859 (7,912)	100.0 (6.3)	17,586 (2,787)	14.0 (35.2)

損 益 計 算 書

科 目	当 期 (自平成13年4月 1日 至平成14年3月31日)		前 期 (自平成12年4月 1日 至平成13年3月31日)		増 減
	百万円	%	百万円	%	
(経 常 損 益 の 部)					百万円
営 業 損 益					
売 上 高	143,446	100.0	125,859	100.0	17,586
売 上 原 価	45,707	31.9	39,393	31.3	6,314
返品調整引当金戻入額	14		279		265
販売費および一般管理費	64,177	44.7	58,317	46.3	5,859
営 業 利 益	33,574	23.4	28,427	22.6	5,147
営 業 外 損 益					
営 業 外 収 益	796	0.6	2,917	2.3	2,120
受取利息および配当金	(139)		(257)		(117)
雑 収 益	(657)		(2,660)		(2,003)
営 業 外 費 用	2,210	1.5	2,614	2.1	404
支 払 利 息	(116)		(236)		(120)
雑 損 失	(2,094)		(2,378)		(284)
経 常 利 益	32,161	22.4	28,729	22.8	3,431
(特 別 損 益 の 部)					
特 別 利 益			1,018		1,018
投資有価証券売却益			(1,018)		
税 引 前 当 期 利 益	32,161	22.4	29,748	23.6	2,412
法人税、住民税および事業税	14,715	10.3	13,183	10.5	1,532
法人税等調整額	12		460		448
当 期 利 益	17,434	12.2	16,105	12.8	1,328
前 期 繰 越 利 益	7,294		3,105		4,188
中 間 配 当 額	3,157				3,157
当 期 未 処 分 利 益	21,571		19,211		2,360

利 益 処 分 案

科 目	当 期 (自平成13年4月 1日 至平成14年3月31日)		前 期 (自平成12年4月 1日 至平成13年3月31日)	
	百万円		百万円	
当 期 未 処 分 利 益	21,571		19,211	
特別償却積立金取崩額	22		22	
計	21,593		19,233	
これを次のとおり処分する。				
利 益 準 備 金	-		578	
利 益 配 当 金	3,698		6,314	
1株につき				
(普通配当	20,500 円		(普通配当 35,000 円	
取 締 役 賞 与 金	42		42	
監 査 役 賞 与 金	4		4	
別 途 積 立 金	11,000		5,000	
次 期 繰 越 利 益	6,849		7,294	

(注) 中 間 配 当 金 3,157 -

1株につき

(普通配当 17,500 円) (-)

貸借対照表

科 目	当 期 (平成14年) 3月31日	前 期 (平成13年) 3月31日	増 減	科 目	当 期 (平成14年) 3月31日	前 期 (平成13年) 3月31日	増 減
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円
【 資 産 の 部 】	171,628	163,132	8,495	【 負 債 の 部 】	68,734	67,566	1,168
（ 流 動 資 産 ）	118,541	105,112	13,428	（ 流 動 負 債 ）	51,758	49,214	2,543
現金・預金	4,178	6,077	1,898	支払手形・買掛金	20,458	20,900	442
受取手形・売掛金	56,716	53,404	3,312	短期借入金	2,504	2,568	64
棚卸資産	16,452	16,259	192	その他流動負債	28,796	25,746	3,050
預け金	32,000	20,000	12,000	（ 固 定 負 債 ）	16,975	18,351	1,375
繰延税金資産	4,460	4,198	262	長期借入金	844	1,056	212
その他流動資産	4,973	5,486	513	退職給付引当金	11,350	12,836	1,486
貸倒引当金	239	313	74	その他固定負債	4,781	4,458	322
（ 固 定 資 産 ）	53,087	58,020	4,933	【 資 本 の 部 】	102,893	95,566	7,327
有形固定資産	28,509	29,625	1,116	（ 資 本 金 ）	9,020	9,020	-
無形固定資産	6,645	9,775	3,130	（ 法 定 準 備 金 ）	2,255	1,676	578
繰延税金資産	8,394	8,276	118	利益準備金	2,255	1,676	578
投資等	9,538	10,342	804	（ 剰 余 金 ）	91,611	84,273	7,338
				特別償却積立金	40	62	22
				別途積立金	70,000	65,000	5,000
				当期未処分利益	21,571	19,211	2,360
				（うち当期利益）	（ 17,434 ）	（ 16,105 ）	（ 1,328 ）
				（ 評 価 差 額 金 ）	7	597	589
				その他有価証券 評価差額金	7	597	589
合 計	171,628	163,132	8,495	合 計	171,628	163,132	8,495

	百万円	百万円
有形固定資産の 減価償却累計額	45,524	42,255
（うち当期減価償却額）	（ 4,203 ）	（ 3,438 ）

キャッシュ・フロー計算書

科 目	当 期	前 期	増 減
	自平成13年4月1日 至平成14年3月31日	自平成12年4月1日 至平成13年3月31日	
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期利益	32,161	29,748	2,412
減価償却費	7,690	7,329	361
引当金の増減	1,512	1,741	229
受取利息および受取配当金	139	257	117
支払利息	155	236	80
売掛債権の増減額	3,312	5,970	2,658
棚卸資産の増減額	192	2,726	2,533
買掛債務等の増減額	430	3,706	4,136
役員賞与の支払額	46	34	12
その他の増減	2,563	1,830	4,393
小計	36,936	28,459	8,477
受取利息および受取配当金の受取額	146	252	105
利息の支払額	117	235	117
法人税等の支払額	12,657	15,550	2,892
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,308	12,926	11,382
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得による支出	189	539	350
有価証券の売却による収入	20	1,400	1,380
固定資産の取得による支出	4,443	17,959	13,515
固定資産の売却による収入	4	17	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,608	17,080	12,472
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減	60	-	60
長期借入金の返済による支出	68	92	24
配当金の支払額	9,471	1,353	8,118
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,599	1,445	8,154
現金および現金同等物の増加額	10,101	5,598	15,700
現金および現金同等物の期首残高	26,077	31,675	5,598
現金および現金同等物の期末残高	36,178	26,077	10,101